

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	54	学校名	静岡県立榛原高等学校	校長名	石川 徹
------	----	-----	------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	個別最適な学びを通じて確かな学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は教科等を理解できるよう指導していると思う生徒90%以上 ○自分が行うべき家庭学習ができている生徒80%以上 ○個人端末を効果的に活用した学習等をする生徒90%以上 ○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒85%以上 ○県内外と連携したグローバル事業（研修、発表等）を実践している ○英語4技能を高められた生徒75%以上 ○新着図書情報等を毎月発信 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 94.1% 生徒 69.7% 生徒 85.3% 生徒 86.5% 生徒 83.0% <英検取得状況> 準1級 0人 2級 32人 準2級+ 2人 準2級 26人 毎月発信した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○年々評価が向上（前年度 93.9% 前々年度 89.6%）している。県内外の高校教育の動向を意識しつつ、引き続き指導力の向上に努める。 ○学習の質や量のほか、自己管理を含めた、生徒の個に応じた家庭学習への支援に取り組む。 ○個人端末については、教員・生徒の活用が定着しつつある。より適切な活用を促していく。 ○探究部を中心に、教職員や外部人材の尽力によって、地元企業、自治体、NPO 法人等と連携し充実した事業を展開することができた。事業継続のための財源確保が課題である。 ○スピーキング能力を図るテストを1年生は各学期に1回、2年生は年1回ずつ実施することができた。英検では、1年次に準2級の取得、2年次に2級の取得をより積極的に呼びかける。 ○順調に発信できた。図書情報は充実しており、紹介があった本を図書館で借りる様子が見られた。
イ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統のかつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導に満足している生徒85%以上 ○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ ○探究活動等を活かして進学する生徒20人以上 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 85.8% <11月模試> 3年 +0.6 2年 +2.6 1年 +0.1 <12月現在> 発展地域創造探究等の探究活動参加者のうち 総合型・学校推薦型選抜による進学決定者22人（国公・私立4大計） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○近年総合型・学校推薦型入試の受検者が大幅に増えるなど、生徒の進路意識が多様化する中、生徒に応じた指導を全職員で実施した。教員の業務負担が課題であり、業務量と手法の工夫が課題である。 ○丁寧な指導の積み重ねにより前年度より向上させることができた。 ○総合型選抜及び学校推薦型選抜等、探究で培った資質・能力を生かした進学者は年々増加傾向にある。実社会での活躍も視野に入れ、引き続き指導の改善に努める。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ○理数探究に積極的に関わったと判断する生徒75%以上 ○「進路勉強会」の保護者満足度平均80%以上 	<p>生徒 76.2%</p> <p>保護者 97.1%</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○日常的な指導に加え、生徒の興味・関心に寄り添った支援を行うことができた。 ○昨年度との同様の形式で実施し、本年度も好評を得ることができた。
ウ	<p>規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、他者を尊重する心を育む教育を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒95%以上 ○期限を守っている生徒90%以上 ○校内外においてあいさつができています生徒95%以上 ○教員は生徒の個性を尊重していると思う生徒85%以上 ○課外活動に積極的に参加している生徒85%以上 	<p>生徒 96.7%</p> <p>生徒 90.0%</p> <p>生徒 97.2%</p> <p>生徒 89.3%</p> <p>生徒 90.0%</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内でスマホを介しての大きなトラブルはなかったが、使用場所に合わせたマナーにおいては継続して適切な使い方を指導する必要がある、引き続きトラブルの未然防止を心掛ける。 ○教職員の評価(90.6%)も高く、概ね期限を守ることができている。 ○生徒が自ら進んであいさつをする習慣が着実に身についている。 ○目標を達成したほか、前々年度(77.8%)、前年度(87.6%)より向上することができた。 ○部活動、委員会、校内外の行事、探究的活動に積極的に参加することができた。主体的に取り組むことのできる生徒の意識は文化として定着しており、これを維持できるよう支援していく。
エ	<p>安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒90%以上 ○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒90%以上 ○教育相談に満足している生徒80%以上、保護者80%以上 ○いじめ、体罰、重大事故0件 ○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒90%以上 ○毎月の安全点検を通して、学校施設設備の維持管理を行う。 	<p>生徒 87.0%</p> <p>生徒 91.0%</p> <p>生徒 87.9% 保護者 89.8%</p> <p>0件</p> <p>生徒 90.5%</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の評価(81.3%)が相対的に低いこともあり、清掃活動等のさらなる充実を目指す。学校規模の縮小による清掃分担箇所の見直しが課題である。 ○流行期の感染拡大を比較的少数に抑えることができた。次年度も適切な声掛けや指導等を行う。 ○担任による面接の実施や相談対応、スクールカウンセラーとの連携や教員間の情報共有を丁寧に行うことができた。 ○未然防止に努め、次年度以降も引き続き発生件数0件を目指す。 ○事務室を中心に、校舎や施設・設備の老朽化や故障に丁寧に対応することができた。引き続き危険箇所や不良箇所の迅速な修繕に努める。

様式第 3 号

オ	<p>教職員の資質向上を協働的に図るとともに、業務の改善を行う</p>	<p>○校内研修テーマ「3年間の進路指導の流れを改めて考える」について協働的に研修した教員 90%以上</p> <p>○他教員の授業見学を年 2 回以上行った教員 85%以上</p> <p>○時間外在校等時間が前年度比で減少した教職員 60%以上</p>	<p>教員 93.6%</p> <p>教員 77.4%</p> <p>教員 45.2%</p>	B	<p>○進路指導について再検討することで、榛原高校の在り方や業務改善について考えを深め、具体的な改善案につなげることができた。</p> <p>○前年度 (64.5%) より増加しているため、さらなる向上のため具体的な施策を講じて教員の資質・能力の向上を目指す。</p> <p>○前年度 (51.5%) から減少している。評価の視点の工夫や働きやすさ・働きがい向上のための施策が課題である。</p>
カ	<p>学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する</p>	<p>○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。</p> <p>○保護者の学校満足度 90%以上</p> <p>○公式サイトや SNS の記事を月平均で 15 回以上投稿する</p> <p>○定期的に関覧する保護者 70%以上</p> <p>○学校が必要な情報を発信していると思う保護者 95%以上</p> <p>○学校広報掲示物を月 1 回程度発行</p> <p>○一日体験入学、オープンスクール等の満足度 90%以上</p>	<p>学校運営協議会 4 回実施</p> <p>保護者 95.0%</p> <p>12 月現在 SNS 投稿数 128 回</p> <p>保護者 69.1%</p> <p>保護者 98.1%</p> <p>12 月現在「進取」発行 7 回</p> <p>1 日体験入学満足度 97.2%</p> <p>オープンスクール満足度 90.6%</p>	A	<p>○グループワークを導入するなど、協議形式を工夫し、テーマを校内研修と連動することで、学校運営に活かすことができた。</p> <p>○前年度 (90.7%) より向上させることができた。引き続き高い満足度を目指して丁寧な取組を継続する。</p> <p>○Instagram についてはフォロワーが 1900 人を超え、発信力は向上している。本年度は SNS と公式サイトとの連携を導入し、業務改善にもつながった。引き続き効果的なコンテンツを意識して発信に取り組む。</p> <p>○Classi や Google のサービスを日常的に活用できている。引き続き用途と方法の改善に努める。</p> <p>○適切な時期と内容を吟味して発行することができた。SNS による広報を加えた広報活動全体のデザインを意識し、広報活動の質向上に努める。</p> <p>○一日体験入学、オープンスクールともに高い満足度を得た。要望等にも耳を傾け、榛原高校の魅力がより伝わるよう改善に努める。</p>